

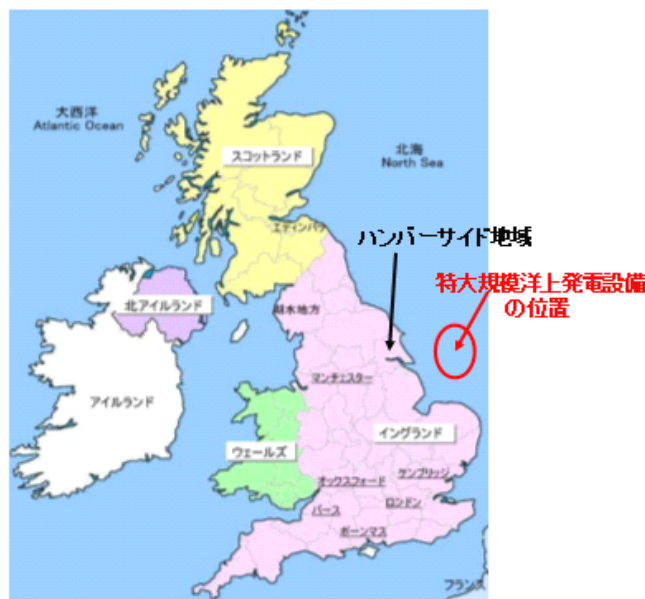
2015-5-10

荒川英敏

英国政府、ハンバーサイド沖合いの特大規模の洋上風力発電プロジェクトを承認

この度、英国政府はイングランド北東部ハンバーサイド沖合い 130km の海域での特大規模の洋上風力発電プロジェクトを承認しました。政府の発表内容の概要は下記です。

- ・プロジェクト名：ドガー・バンク・クレイク・ベック A & B 洋上発電
- ・洋上発電設備：6 MW 風力タービン 400 基
- ・総発電量：2400MW（住宅約 200 万戸分の発電量）
- ・事業費：未発表だが £ 1bB（約 1,800 億円）上回ると考えられます。
- ・完成予定：2018 年 6 月



特大規模洋上風力発電設備の設置場所

DECC(エネルギー・気候変動省) の高官、デイビー氏は「このプロジェクトによってハンバーサイド地域で地球温暖化防止産業に係わる新たな 900 人の雇用が生まれ、このプロジェクトで発電されるグリーン電力によって 200 万戸分の電力が賄われることになるのは大変喜ばしいことである」と話しています。風力発電事業は英国では極めて重要な産業となっており、陸上風力発電は環境問題が付きまとうので、2010 年から政府は洋上風力発電にシフトしており、£ 14.5B（約 2 兆 6000 億円）を洋上風力発電事業に振り向け 35,400 人の雇用が創出されています。

英国は、国策で果敢に洋上風力発電に係わる様々な制度やインフラ整備を行い、海外から積極的に投資を呼び込みそれが結局、研究や部材の生産、設備工事に繋がり、国が目指すエネルギーの安定供給と経済の再生に寄与して入ると言っても過言ではありません。

英国は四方海に囲まれ、特に東側の北海は水深が浅く洋上風力にはもってこいで正にこの地の利を利用しない手はありません。この為、世界最大の洋上風力発電市場となっており、2016年には累計洋上発電設備は600万KW、2020年には1000万KWを見込み、同年には再生可能エネルギー比率は20%を達成すると思われます。

海洋大国日本も英国の様に国策として洋上風力を強力に推進し、再生可能エネルギー大国として化石燃料や原発に依存しないでエネルギーの安定供給を達成し、世界に範を示してもらいたいのもですね。(了)